

【西区】在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

「多職種連携のちから」

【開催日時】 平成26年3月13日(木) 19:00~21:00

【開催日時】 西部公民館

【内 容】

1) 講演「地域包括ケアシステムと連携」

熊本市地域包括支援センター連絡協議会

会長 金澤 知徳 様

2) グループワーク「医師との連携を考えよう」

・ワールドカフェ形式で意見交換を行いました。

※ワールドカフェ・・・席替えを交えながら、たくさんの意見を聞く方法



←講演

↓グループワーク



参加者 102名 (西区の関係者中心)

・ 医師	5人	・ 歯科医師	1人	・ MSW等	2人
・ 看護師	12人	・ 薬剤師	9人	・ 相談員等	5人
(内訳) 病院	4人	・ 理学療法士	8人	・ 社会福祉士	3人
診療所	1人	・ 作業療法士	9人	・ 介護福祉士等	2人
訪問看護ステーション	2人	・ 栄養士	2人	・ その他	9人
その他	5人	・ 介護支援専門員	23人		
・ 民生委員等	7人	・ 区役所	5人		

グループワークで出された意見(一部抜粋)
テーマ「医師との連携を考えよう」

連絡方法を明確にしてほしい

医師の取り扱い説明書があれば・・・

患者を生活者として見てほしい

どんな情報が欲しいのか知りたい

世間話がしたい

患者に触ってほしい

共通フォーマットの作成、窓口担当者の配置

レスポンスがないと悲しい

できれば総合医に診てほしい

(老健)施設医と開業医との連携も必要

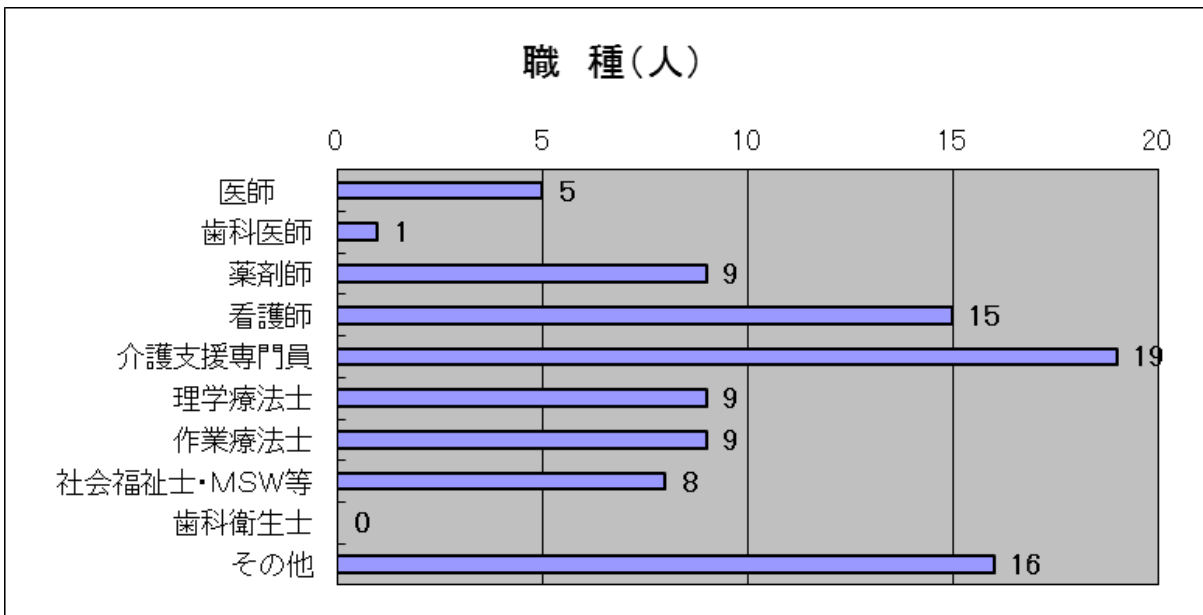
患者は医師を選ぶべし

地域住民の理解を深めることも必要

研修会後のアンケート

回答数 89 (回答率 87%)

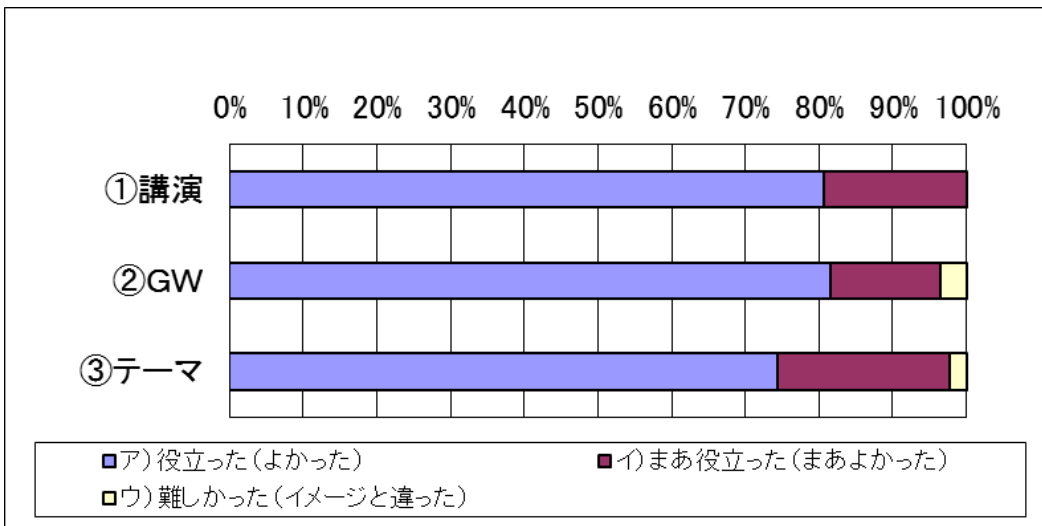
1 回答者



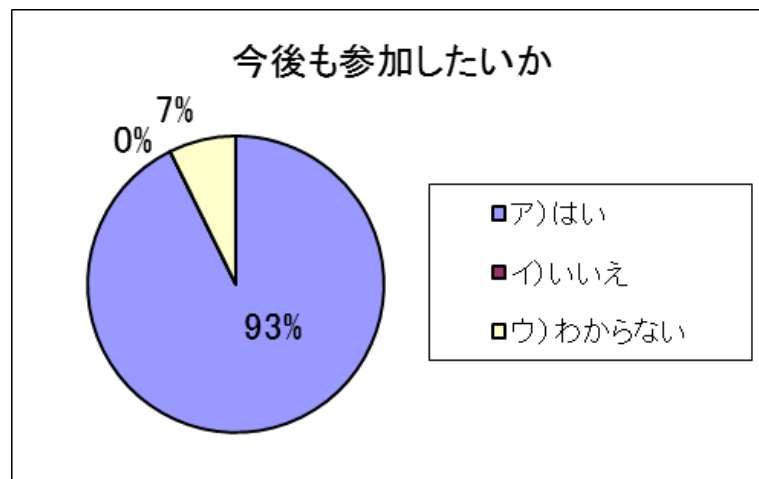
3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 7.2人

2 プログラムについて



4 今後も参加したいか



4 研修会に関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・ 包括ケアシステムを進める上での現状課題が良く見えた。医療介護だけでなく、保健（予防）の視点・重要性もしっかり取り上げてほしい。住民の視点もとても貴重。
- ・ 医師との連携と情報交換の問題点が多数あると分かった。在宅医療について詳しいことが分からず難しかった。
- ・ 定期的に開いてほしい。
- ・ 医療ではない方々の意見が聞けてよかった。患者に寄り添った意見が嬉しかった。
- ・ 新しい研修会の試みで有意義だった。意見も良く出て、多様な職種の意見を聞くことが出来た。
- ・ こうした機会を多くし、今後も広く深くお付き合い（連携）できるようにしていくべき。話し合い→結果→次にどうするかまでもっていくべき。
- ・ グループワークは新鮮で日頃の業務内では聞けない情報を多く得ることが出来た。時間がもう少し取れたらよかった。
- ・ わかりやすいテーマで行ってほしい。
- ・ 直接医師の話聞くことが出来て良かった。
- ・ 医師との連携が難しいと感じている人が沢山いる反面担当ケアマネが尋ねてこないと思っている医師もいることが分かった。今後もう少し踏み込んで行きたい。
- ・ 1人でも多く地域の医師に参加してもらえる仕組みづくりが出来ると良い。